



2024年5月27日

各位

会社名 株式会社トリプルアイズ  
代表者名 代表取締役 山田 雄一郎  
(コード番号：5026 東証グロース)  
問合わせ先 執行役員 近藤 一寛  
(TEL. 03-3526-2201)

### 第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、2024年5月27日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 募集の概要

(1) 払込期日	2024年9月2日
(2) 発行新株式数	普通株式 494,400 株
(3) 発行価額	1株につき金 1,037 円
(4) 調達資金の額	512,692,800 円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、下記の者に下記の数の当社普通株式を割り当てる。 一般社団法人恵那会 370,800 株 井口邦 123,600 株
(6) その他	金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力が発生することを条件とします。

#### 2. 募集の目的及び理由

当社グループは、「テクノロジーに想像力を載せる」という経営理念の下、テクノロジーと想像力との融合によるイノベーションの追求によって、テクノロジーと人が共存する社会の創生を目指しております。当社グループのAIソリューション事業においては、独自に開発したAIエンジンによる画像認証等のサービスを展開しており、ディープラーニングに代表される機械学習を用いたAIの研究開発に取り組んできており、とくに顔認証においては高い精度を実現しております。

本日開示の「株式会社BEXの株式の取得(連結子会社化)に関するお知らせ」に記載の通り、同社はトヨタ自動車グループとの安定的な取引基盤を有しておりますが、同社において設計業務の標準化やルーチンタスクの自動化等のAIによる業務支援、ナレッジデータ学習による専門タスクのAI化や設計の自動生成等のAIによる業務代替、生産工程のDX化等のAIによる業務拡張によるAI自動車設計領域におけるAIの活用が見込まれることに加え、当社グループ全体として顧客層の拡大や多様なキャリアの提示によるエンジニア採用力の強化等、当社グループとの事業上のシナジー効果による更なる成長が見込まれることから、2024年7月1日付で株式会社BEXの発行済の全株式を取得することを決定いたしました。

下記「6. 割当予定先の選定理由等(2) 割当予定先を選定した理由」に記載の通り、上記の買収を進めていく中において、株式会社BEXの経営陣には、当社グループの経営方針・経営戦略等、特に当社の掲げる「エンジニア成長第一主義」という社員の成長を第一に掲げた取り組みについては、同社の理念とも共通する部分が多く、共感していただきました。また、同社の大株主でもあり、代表取締役社長である井口邦氏との今後の協力関係を確固たるものとする目的で、井口邦氏が所有する資産管理会社である一般社団法人恵那会及び井口邦氏を割当予定先とする第三者割当増資を実施することが、当社の企業価値及び株主価値を向上するための最善の方法であると考え、本第三者割当増資により新株式を発行することを選択いたしました。なお、今回の資金調達にあたり既存株主の皆様への影響も考慮し、その他の様々な選択肢についても検討いたしましたが、以下の理由から、本第三者割当が最善と判断いたしました。

- ① 間接金融(銀行借入)による資金調達は、負債性のある資金調達を追加することで自己資本比率の低下を招き、当社の財務体質の維持・強化に資さないこと。なお、本日適時開示しております「株式会社BEXの株式の取得(連結子会社化)に関するお知らせ」に株式取得代金の一部として借入を検

討中である旨を記載しておりますが、本第三者割当増資より先行して株式取得代金を支払うためであり、下記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載のとおり、本第三者割当増資の調達資金により従前からの借入金を返済するため、自己資本比率の低下を防ぐこと。

- ② 公募増資や株主割当、ライツオファリングについては、調達に要する時間及びコストも第三者割当によるエクイティ・ファイナンスと比べて長期かつ割高となる傾向にあることや、中長期的な企業価値及び株主価値の向上に資する資本業務提携等の協力関係の構築を伴わないことから、株価に対する直接的な影響を与える可能性があると考えられること。
- ③ 新株予約権による資金調達は、発行時に必要な資金を調達できず、株価の動向により当初想定していた資金調達ができない、又は、実際の調達金額が当初想定されている金額を下回る可能性があること。

また、本第三者割当増資により当社株式の株式価値の希薄化が生じることになりますが、下記「5. 発行条件等の合理性（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠」に記載のとおり、本第三者割当増資は当社の企業価値の向上及び株主価値の増大に資するものであり、結果として既存株主の皆様への利益向上にも資するものであり、本第三者割当による株式の希薄化の規模は合理的であると考えております。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### （1）調達する資金の額

①	払込金額の総額	512,692,800円
②	発行諸費用の概算額	2,400,000円
③	差引手取概算額	510,292,800円

- （注）1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 発行諸費用の概算額は、主に、有価証券届出書等の書類作成費用、登記関連費用、その他諸費用等からなります。

#### （2）調達する資金の具体的な使途

本第三者割当増資の差引手取概算額 510,292,800円（以下「本調達資金」という。）について、手取金の使途は主に下記のとおりとなります。なお、支出予定時期までは当社取引銀行の口座にて管理する予定であります。

具体的な資金使途	金額（千円）	支出予定時期
① AI導入による設計業務の効率化システム 図面・部品・自動車法規等に関わるAI開発 設計業務情報に係る生成AI関連開発	180,000	2024年9月～2026年8月
② AIデータセンター構築	150,000	2024年9月～2026年8月
③ 借入金の返済	180,292	2024年9月～2025年8月

具体的な本調達資金の使途は以下のとおりであります。

- ① AI導入による設計業務の効率化システム、図面・部品・自動車法規等に関わるAI開発、設計業務情報に係る生成AI関連開発

当社グループは今後グループ会社となる株式会社BEXにおいて、設計業務の標準化やルーチンタスクの自動化等のAIによる業務支援、ナレッジデータ学習による専門タスクのAI化や設計の自動生成等のAIによる業務代替、生産工程のDX化等のAIによる業務拡張によるAI自動車設計領域におけるAIの活用を行うため、AI導入による設計業務の効率化システム、図面・部品・自動車法規等に関わるAI開発、設計業務情報に係る生成AI関連開発に180,000千円（2025年8月期に100,000千円、2026年8月期に80,000千円）を充当する予定であります。

## ② AIデータセンター構築

当社グループは現在大きな注目を浴びている生成AIに関する需要の高まりを受け、コンピューティングパワーを担うGPUサーバには大きな需要が発生していることから、GPUサーバ等を保管するAIデータセンター構築のための投資資金として、150,000千円（2025年8月期に100,000千円、2026年8月期に50,000千円）を充当する予定であります。

## ③ 借入金の返済

当社グループは財務体質の強化及び経営基盤安定化を経営上の重要な課題と位置付けております。本日適時開示しております「株式会社BEXの株式の取得(連結子会社化)に関するお知らせ」に記載の通り、株式取得代金の一部として借入を検討中であるため、今回の資金使途の一部として自己資本比率の低下を防ぐことを目的に、主に人件費等の運転資金として金融機関から借り入れた2024年4月30日現在の借入金の残高2,144,144千円のうち、2025年8月期に180,292千円を返済する予定であります。

### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当により調達する資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することで、当社グループにおける収益基盤の一層の拡大を図るとともに、企業価値の向上を図ることができるため、本第三者割当は株主価値の向上に資する合理的なものであると考えております。

### 5. 発行条件等の合理性

#### （1）払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株式の払込金額につきましては、本第三者割当に係る取締役会決議日の前営業日（2024年5月24日）における東京証券取引所が公表した当社普通株式の終値である1,037円としました。これは、直近の株価が現時点における当社の客観的企業価値を適正に反映していると判断したためであります。

なお、この価格は、東京証券取引所グロス市場における当社普通株式の取締役会決議日の前営業日（2024年5月24日）の直近1ヶ月（2024年4月25日から2024年5月24日まで）終値の単純平均値である1,195円（円未満四捨五入。終値の単純平均値において、以下同じ。）に対して13.22%のディスカウント（小数点以下第3位四捨五入。プレミアム率及びディスカウント率の計算において、以下同じ。）、3ヶ月（2024年2月25日から2024年5月24日まで）終値の単純平均値である941円に対して10.20%のプレミアム、6ヶ月（2023年11月25日から2024年5月24日まで）終値の単純平均値である818円に対して26.77%のプレミアムとなります。

以上のことから、当社は、本新株式の払込金額の決定方法は、適正かつ妥当であり、本新株式の払込金額は、割当予定先に特に有利な金額には該当しないものと判断しております。この判断に基づいて、当社取締役会は、本新株式の発行条件について十分に討議、検討を行い、取締役全員の賛成により本新株式の発行につき決議いたしました。

なお、当社監査等委員会（その内2名が社外取締役）から、本新株式の払込金額の決定方法は、当社普通株式の価値を表す客観的な値である市場価格を基準にしており、また、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠し、本新株式の払込金額は割当予定先に特に有利な金額に該当しない合理的な金額であり、適法である旨の意見を得ております。

#### （2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資において発行する当社普通株式の数は494,400株（議決権数4,944個）の予定であり、2024年2月29日現在の当社の総株主の議決権数73,797個に対して、6.70%の割合で希薄化が生じます。しかしながら、上記のとおり、一般社団法人恵那会及び井口邦氏の出資受入を通じて、当社グループの業績向上にコミットしてもらうことを通じて、当社グループの中長期的な企業価値の向上に寄与するものであり、ひいては株主価値の向上に資するものであると考えていることから、本第三者割当増資による発行数量及び希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

## 6. 割当予定先の選定理由等

### (1) 割当予定先の概要

(1) 名称	一般社団法人恵那会
(2) 所在地	三重県いなべ市員弁町大泉新田 40 番地 12
(3) 代表者の役職・氏名	代表理事 井口邦
(4) 事業内容	株式・債権等の保有、管理及び運用等
(5) 資本金	一般社団法人組織のため、該当事項はありません。
(6) 設立年月日	2024 年 5 月 17 日
(7) 発行済株式数	一般社団法人組織のため、該当事項はありません。
(8) 決算期	2 月
(9) 社員数	2 名
(10) 主要取引先	資産管理会社を新規設立したため、該当事項はありません。
(11) 主要取引銀行	資産管理会社を新規設立したため、該当事項はありません。
(12) 大株主及び持株比率	一般社団法人組織のため、該当事項はありません。
(13) 当事会社間の関係	
資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。
関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。
(14) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態	資産管理会社を新規設立したため、該当事項はありません。

(1) 氏名	井口 邦
(2) 住所	三重県いなべ市
(3) 職業の内容	会社役員
(4) 上場会社と 当該個人との間の関係	該当事項はありません。なお、井口氏は、本日付で開示しております「株式会社 B E X の株式の取得（連結子会社化）に関するお知らせ」の対象会社の代表取締役社長であります。

※当社は割当予定先である一般社団法人恵那会及びその設立時社員である井口邦氏並びに井口恵氏について、反社会的勢力とは一切関係のないことを聴取しております。また、日経テレコンやインターネット検索等の調査により、反社会的勢力と関わりがないものと判断しております。以上により当社は、割当予定先等については反社会的勢力とは一切関係がないと判断し、これに係る確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

### (2) 割当予定先を選定した理由

当社グループは、今後も株主様をはじめとするステークホルダーの利益を高めるため、当社グループの財務体質、経営基盤の強化、収益機会の創出を図っていくことが、当社グループの果たすべき役割であると認識しております。これらを実行していくために、当社グループ事業とのシナジー効果を発揮できる会社の M&A も含めた成長戦略を描いており、2023 年 7 月 27 日に適時開示しております「株式会社ゼロフィールドの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」及び本日適時開示しております「株式会社

BE Xの株式の取得(連結子会社化)に関するお知らせ」はその一環であります。当社のグループ会社となる株式会社BE Xの経営陣には、当社グループの経営方針・経営戦略等、特に当社の掲げる「エンジニア成長第一主義」という社員の成長を第一に掲げた取り組みについては、同社の理念とも共通する部分が多く、共感していただきました。また、今回の割当予定先である井口邦氏は株式会社BE Xの大株主かつ代表取締役社長であり、同じく割当予定先である一般社団法人恵那会は、井口邦氏が所有する資産管理会社であります。井口邦氏とは、当社グループAIソリューション事業のサービスであるAIエンジニア育成研修の取引を契機として出会い、2023年12月以降の複数回の面談を経てお互いの今後のビジョン等を共有する中で今後の協力関係を確固たるものとする目的で、井口邦氏が所有する資産管理会社である一般社団法人恵那会及び井口邦氏を本件第三者割当増資の割当予定先として選定いたしました。なお、割当予定先として一般社団法人恵那会と井口邦氏個人を分けて選定した理由につきましては、資産管理会社として株式を取得することにより、相続リスクの軽減を図ると共に長期安定的な運用が可能となるという井口邦氏の意向を尊重しつつ、当社といたしましても中長期的な安定株主としてメリットがあると判断したためであります。

### (3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先からは、本第三者割当により割り当てる当社普通株式について、中・長期に保有する意向であることを口頭にて確認しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から2年以内に本件第三者割当により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

### (4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

#### ・一般社団法人恵那会

当社は、2024年7月1日に割当予定先を所有する井口邦氏に対して株式会社BE Xの株式取得代金を支払う予定となっておりますが、本第三者割当増資に係る払込金額は、井口邦氏から一般社団法人恵那会へ当該株式取得代金の一部金額を貸し付ける旨を確認しております。なお、当該株式取得代金は当社が借入及び自己資金により充当する予定であることから、払込みに要する資金を上回る金額を十分に確保できる予定であることを確認しております。

#### ・井口邦氏

当社は、2024年7月1日に井口邦氏に対して株式会社BE Xの株式取得代金を支払う予定となっておりますが、本第三者割当増資に係る払込金額は、当該株式取得代金の一部から出資する旨を確認しております。なお、当該株式取得代金は当社が借入及び自己資金により充当する予定であることから、払込みに要する資金を上回る金額を十分に確保できる予定であることを確認しております。

## 7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前 (2024年2月29日現在)		募 集 後	
福原 聖子	31.70%	福原 聖子	29.71%
株式会社コスモウエア	24.38%	株式会社コスモウエア	22.85%
PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合	5.47%	PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合	5.13%
JPE第1号株式会社	4.62%	一般社団法人恵那会	4.71%
株式会社キューブシステム	4.06%	JPE第1号株式会社	4.33%
株式会社TOKAI コミュニケーションズ	3.39%	株式会社キューブシステム	3.81%
株式会社シーティーエス	1.38%	株式会社TOKAI コミュニケーションズ	3.17%
山田 雄一郎	1.22%	井口 邦	1.57%
株式会社SBI証券	1.11%	株式会社シーティーエス	1.29%
東港金属株式会社	0.95%	山田 雄一郎	1.14%

(注) 1. 2024年2月29日現在の株主名簿を基準として記載しております。

2. 上記は発行済株式総数に対する所有株式数の割合を記載しております。割当後の持株比率は当社普通株式494,400株が発行された後の発行済株式数に基づき記載しております。

## 8. 今後の見通し

本第三者割当は当社グループのA I 開発の体制強化に繋がり、中長期的な成長と収益性改善に資するものと考えておりますが、2024年8月期の当社グループの業績に与える影響はございません。今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

## 9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

## 10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

### (1) 最近3年間の業績（連結）

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
連結売上高	2,122百万円	2,424百万円	2,346百万円
連結営業利益	60百万円	133百万円	△269百万円
連結経常利益	83百万円	115百万円	△290百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	38百万円	112百万円	△825百万円
1株当たり連結当期純利益	6.12円	17.47円	△118.67円
1株当たり配当金	-	-	-
1株当たり連結純資産	71.23円	166.53円	47.61円

### (2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2024年4月30日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	7,385,700株	100.0%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	554,800株	7.5%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	-	-
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	-	-

（注）上記潜在株式数は、第1回、第2回、第3回及び第4回新株予約権に係る潜在株式数であります。

### (3) 最近の株価の状況

#### ① 最近3年間の状況

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
始 値	-	2,200円	1,456円
高 値	-	2,319円	1,494円
安 値	-	1,026円	591円
終 値	-	1,378円	767円

（注）2021年8月期の株価に関しては当社株式が非上場であったため記載しておりません。

#### ② 最近6か月間の状況

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
始 値	737円	647円	689円	726円	830円	1,449円
高 値	740円	773円	750円	959円	1,772円	1,492円
安 値	594円	642円	658円	701円	773円	958円
終 値	667円	694円	711円	800円	1,499円	1,037円

（注）5月の株価については、2024年5月24日現在で表示しております。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2024年5月24日
始 値	1,044 円
高 値	1,105 円
安 値	1,017 円
終 値	1,037 円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募増資

払込期日	2022年5月30日
調達資金の額	425,184,000 円 (差引手取概算額)
発行価額	809.60 円
募集時における発行済株式総数	6,262,600 株
当該募集による発行株式数	540,000 株
募集後における発行済株式総数	6,802,600 株
発行時における当初の資金使途	1 技術への投資として、AIZE の新規プロダクトのための技術開発投資等 2 人材への投資として、a) 人材採用費、b) エンジニアに対する先端テクノロジー研修に係る研修費、c) 営業・組織強化のための新規採用人員の人件費
発行時における支出予定時期	1 技術への投資として、2022年8月期に30,986千円、2023年8月期に73,208千円、2024年8月期に100,801千円 2 a) 人材採用費として、2022年8月期に2,806千円、2023年8月期に59,600千円、2024年8月期に62,400千円 b) エンジニアに対する先端テクノロジー研修に係る研修費として、2022年8月期に280千円、2023年8月期に1,602千円 c) 営業・組織強化のための新規採用人員の人件費として、2022年8月期に3,897千円、2023年8月期に63,218千円、2024年8月期に91,697千円
現時点における充当状況	①技術への投資 (245,731 千円) 及び②人材への投資 (162,881 千円) 資金に充当しております。

(注) 本公募増資につきましては、当社株式の新規上場時に実施したものであり、「発行時における当初の資金使途」、「発行時における支出予定時期」、「現時点における充当状況」につきましては、下記新規上場時の主幹事証券会社を割当先とする第三者割当増資の状況と併せて記載しております。

・第三者割当増資

払込期日	2022年6月24日
調達資金の額	65,316,000 円 (差引手取概算額上限)
発行価額	809.60 円
募集時における発行済株式総数	6,262,600 株
当該募集による発行株式数	81,000 株
募集後における発行済株式総数	6,883,600 株 (注)
割当先	いちよし証券株式会社
発行時における当初の資金使途	上記公募増資の「発行時における当初の資金使途」欄に併せて記載しておりますので、ご参照ください。
発行時における支出予定時期	上記公募増資の「発行時における支出予定時期」欄に本第三者割当増資との合計額を記載しておりますので、ご参照ください。
現時点における充当状況	上記公募増資の「現時点における充当状況」欄に併せて記載しておりますので、ご参照ください。

(注) 「募集後における発行済株式総数」につきましては、上記公募増資の「募集後における発行済株式総数」に「当該募集による発行株式数」を加えた数となっております。

・ 第三者割当増資

払込期日	2023年9月29日
調達資金の額	298,949,100円(差引手取概算額)
発行価額	743円
募集時における発行済株式総数	6,977,000株(注)
当該募集による発行株式数	403,700株
募集後における発行済株式総数	7,380,700株
割当先	PROCESS UNIT FUND 投資事業有限責任組合
発行時における当初の資金使途	技術への投資として、AIZEに係る技術開発投資、GPUサーバー事業の新商品開発等
発行時における支出予定時期	技術への投資として、2024年8月期に71,017千円、2025年8月期に132,536千円、2026年8月期に95,395千円
現時点における充当状況	技術への投資(23,536千円)資金に充当しております。

(注) 「募集時における発行済株式総数」につきましては、当該募集の払込期日である2023年9月29日の前営業日における発行済株式総数を記載しております。

11. 発行要項

(1) 募集株式の種類及び数	普通株式 494,400株
(2) 払込金額	1株につき1,037円
(3) 払込金額の総額	512,692,800円
(4) 増加する資本金の額	256,346,400円
(5) 増加する資本準備金の額	256,346,400円
(6) 割当方法	第三者割当の方法により、下記の者に下記の数の当社普通株式を割り当てる。 一般社団法人恵那会 370,800株 井口邦 123,600株
(7) 払込期日	2024年9月2日(月)
(8) その他	上記各項については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とする。

以 上